

## 見守り 新鮮情報

**備蓄**用に購入していたレトルトカレーが、気が付くと**賞味期限**を**過ぎていた**。試しに一度食べたが、味に変化はなかった。まだたくさん残っているが、食べても支障はないか。(80歳代 女性)



©Kurosaki Gen

## 災害用の備蓄食品は 定期的に入れ替えましょう

- 災害発生時に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。1人当たり3日分、大規模災害発生に備えるなら1週間分の備蓄があると良いとされています。
- 「賞味期限」はおいしく食べられる期限のことであり、食べられなくなる期限ではありません。適切な消費を心掛け、定期的を確認しましょう。
- 日頃から保存性の高い食品を少し多めに買い置きし、賞味期限などを考えながら計画的に使い、新たに買い足す「ローリングストック法」も有効です。

## ひとこと助言

備蓄は  
計画的に



本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第400号（2021年8月17日）発行：独立行政法人国民生活センター

### 山形市消費生活センター

山形市城南町1-1-1 霞城セントラル3階

〈相談受付〉火～日(月・祝休館)午前9時～午後5時

〈相談専用電話〉023-647-2211

消費者ホットライン <sup>い</sup> <sup>や</sup> <sup>や</sup> 188もご利用ください

山形市公式LINE  
にて毎月センター  
情報を配信中です

